
すばる文学賞！！

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

すばる文学賞！！

【Nコード】

N0972X

【作者名】

ごはんライス

【あらすじ】

すばる文学賞落選記念作品。むかつくことである。

（前書き）

前書き定食、味噌汁つき。 390円。 安い！！ 旨いかどうかは未知数！！

まんをじして、すばる文学賞に投稿した自信作が、なんと落選。青天の霹靂である。予想外の事態に混乱。途方に暮れる。

ライバル塾が近所に乱立し、アルバイトの仕事がかなり減っていたが、すばる文学賞に当選しプロ作家としてバリバリ稼ぐ予定だったから何とかやってこられた。

しかしあっさり裏切られた……失意のどん底にいる。いろいろなものに裏切られてる。アルバイトにも裏切られ小説にも裏切られてどうしようもない。

どうすればいいんだ。

そんな時、雑誌で「これは」という求人があった。月収1500万円。一日二時間労働。これはいい。最高じゃないか。

オレはすぐに面接を受けにいった。これで貧困とおさらばだ。

社長はメタボリックで眼光鋭かった。さすが、ビッグマネーを扱ってる人物は違うと感じた。

「つらいですけど、大丈夫ですか」

「アルバイトよりましです。がんばります」

「わかりました」

オレは合格した。これで結婚ができる。子作りができる。やったぜやったぜベイビー！！

そして、アルバイト先に辞表を叩きつけ、ついについに。

初出勤。

オレはネクタイをびしっと決めて事務所に行った。

すると、社長がついてきなさいと言って、オレは薄暗い階段を下り、地下へ。

地下室のドアを開けると、熱気が。

「！！！！！！」

なんと、そこはまさにサウナであった。何と、サウナ並みの温度

であつた。むちゃくちや暑い。イラク並み。

「??????」

社長に、これ持つてと言われた。

「ぐ、重い」

その石のようなものは、100キロ以上はあつた。重さと熱さでオレは汗をだらだら流した。

社長は退室して、ドアが閉められた。

しかも、天井の穴からローションが流れてきて、オレは全身ぬるぬるになって気分が悪い。

そして、壁の穴から、バレーボールが次々と飛び出し、オレに激突した。時速もすごい。プロ野球選手ほどの時速だ。

そして、背後から、大根が突き出し、オレの尻に刺さつて、すごいスピードで動いた。

「ぐぐぐぐ。痛い。痛い。いつまで続くんだ」

スピーカから「二時間だよ」という社長の声が聞こえた。

しかも、今度は四方のスピーカから、ものすごい歌声が、大音量で流れ始めた。「おーれはジャイアン。ガッキ大将！」パチンコ屋よりひどい。耳から血が噴出して、げろげろ吐いて、ケツから血便を流した。大根、バレーボール、ジャイアン、ローション、石……。

オレは、開始後、数分で根を上げ、「もう辞めますうつうつうつうつうつ」と叫んだ。

（後書き）

後書きの娘さんかい。はじめまして。ジョニーです。ジョニーじよにやまです。山田って呼んでください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0972x/>

すばる文学賞！！

2011年10月9日15時37分発行